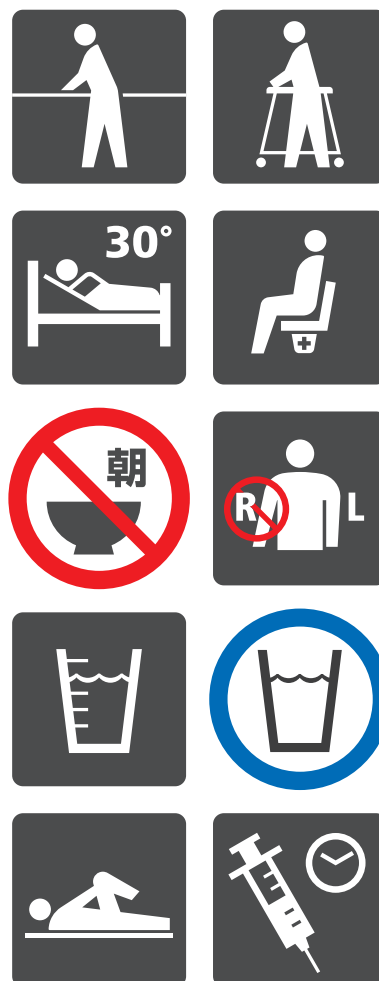


医療看護支援ピクトグラム

Communicative medical support pictogram

デザインマニュアル
Design manual



いのちを見守る コミュニケーションデザイン Communicative Life Support Design

先端医療機器だけでは得られない大切なもののために、
いのちを見守るコミュニケーションデザイン。
人と人との関わり、コミュニケーションが穏やかに育まれる
「いのちを見守る空間」を持っているのが
病院だということを忘れてはなりません。

医療看護支援ピクトグラムは、
そのベッドに横たわる患者さんが治療しながら、
できるだけいつもと同じ生活を送ることができるために、
そこに集まる人たち（病院全職員、患者・家族、面会者）が
何らかの支援（声をかける、人を呼ぶ、介助する）を
しやすくする（情報共有）、したくなる（ピクトグラム）
コミュニケーションツールです。

1

ピクトパネルの推奨デザインの考え方

表示に関しては下図の通り大きく[A]～[D]の4つのスペースに区分けを行うことを基本とする。



A ピクトグラム表示スペース

策定したピクトグラムは「移動」「姿勢」「排泄」「食事」「飲み物」「職員共用」の6種類であるが、「移動」と「姿勢」は同時に表示されることはほとんどないと推測し、5枚表示できるスペースを作っている。しかし「職員共用」は複数表示される可能性もあることから、表示スペースを6枚等にするとも考えられる。



B 転倒リスクアセスメント表示スペース

A～Cの3段階、色も青・黄・赤の3色で危険度を表す。



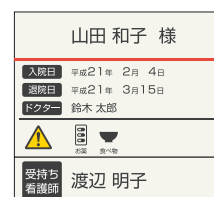
C 注意表示スペース

ピクトグラムを補う情報を文字情報として表示するほか、その病院、その診療科独自の注意事項で生活に密接しているものをここに表示する。



D 患者表示スペース

患者氏名、入院日、手術日、担当医、薬物・食事のアレルギーの有無、受持ち看護師情報を表示する。



2

ピクトパネルの表示内容変更の注意事項

A ピクトグラム表示スペース

1) 図柄について

- ・本誌最終ページの一覧の通りとし、上部にピクトグラム、下部にその図柄が示す日本語を表示する。
図柄の形状変更は不可とする。

2) 色について

- ・禁止・制限を表す赤ライン、OKを表す青ラインについては、変更不可とする。
- ・表示板ベース色については、オフホワイトやライトグレーなどの淡い色を基本とする。
- ・ピクトベース色・文字については、ダークグレーやダークブラウンなどの濃い色を基本とする。



ピクトグラムカラーの展開範囲



ピクトグラムカラーの禁止事例



視認性が悪いことから淡い色や、禁止を表す赤ラインが見づらくなるため赤系の色は使用しない。

B 転倒リスクアセスメント表示スペース

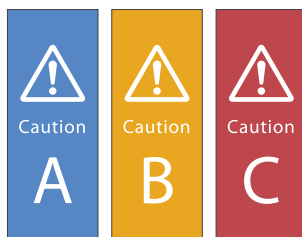
1) 表示内容について

- ・転倒リスクアセスメントから導かれた A～C の 3 段階を表示する。
- ・補足として下図の事例 1 の通り救護区分を表示することも可とする。

2) 色について

- ・ベース色は、青色、黄色、赤色の 3 色とし、注意の必要性が一瞬でわかるよう視認性のよい色合いとする。

基本デザイン



事例 1 (表示内容の変更)

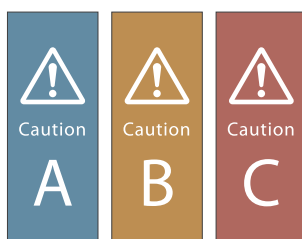


事例 2 (表示内容の変更)

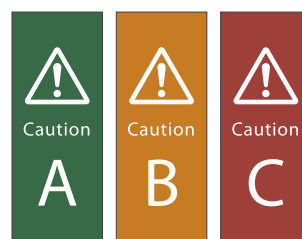


色による認識のみとし事例 2 のように A～C の文字を表示しないことも可。

事例 3 (色の変更)



事例 4 (色の変更)



事例 3・事例 4 のように 3 色のトーンを変更することも可。

C 注意表示スペース

1) 表示内容について

生活に密接した注意事項を表示するものとしその病院、また診療科によって必要なバリエーションを増やすことも可とする。

表示事例



D 患者表示スペース

1) 表示内容について

患者氏名、入院日などの基本的な表示に加え、下図の事例の通り手術日など患者さんについての情報を表示することも可。

その病院、診療科で掲示が必要とされる患者情報を表示することができる。

事例 1

山田 和子 様	
入院日	平成 21年 2月 4日
退院日	平成 21年 3月 15日
手術日	平成 21年 2月 4日
アレルギー	お薬 食べ物

事例 2

山田 和子 様	
入院日	平成 21年 2月 4日
手術日	平成 21年 2月 8日
担当看護師	鈴木 花子

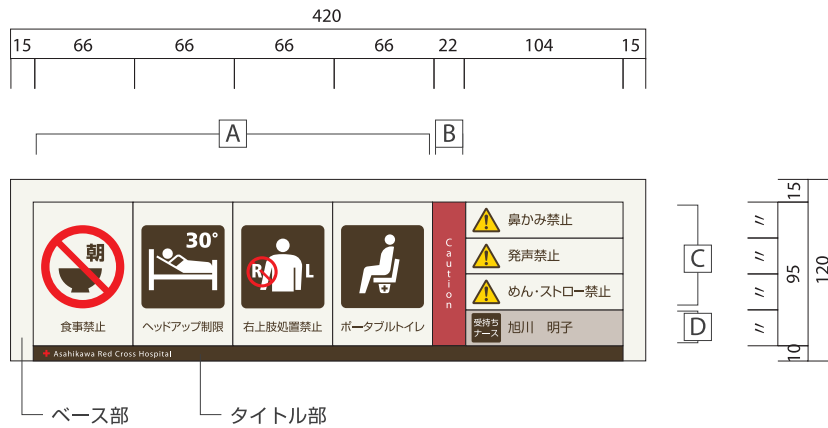
事例 3

山田 和子 様	
入院日	H 21年 10月 10日
手術日	H 21年 10月 5日

3

ピクトパネルの設置デザイン事例

事例 1 旭川赤十字病院 導入事例（北海道旭川市）

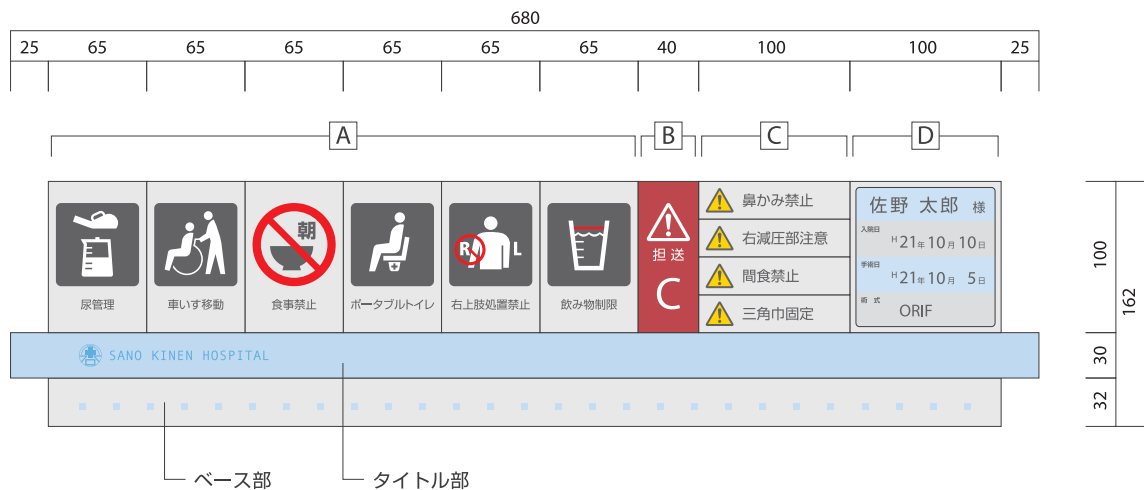


- A** ピクトグラム表示スペース
表示スペースは4枚としている。
- B** 転倒リスクアセスメント表示スペース
A～Cの文字表示はせず、青・黄・赤の3色で危険度を表している。
- C** 注意表示スペース
注意事項を3枚表示できるスペースを設けている。
- D** 受持ちナーススペース
旭川赤十字病院ではピクトパネルでの患者表示は行わず、受持ちナースのみの表示としている。

ピクトパネルの仕様

- A**～**C** : マグネットシートにインクジェット出力シート貼（マグネット脱着式）
- D** : マグネットシートに表示は市販のシールプリント対応とし病院にて変更対応が可能としている。
- ベース部 : ベースはマグネット対応のスチール複合板にインクジェット出力シート貼
- タイトル部 : アクリル（ガイドレール）

事例 2 佐野記念病院 導入事例 (大阪府泉佐野市)

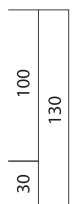


- [A] ピクトグラム表示スペース
表示スペースは6枚としている。
- [B] 転倒リスクアセスメント表示スペース
A～Cの文字表示に加え、救護区分も和文で表示している。
- [C] 注意表示スペース
注意事項を4枚表示できるスペースを設けている。
- [D] 患者表示スペース
患者氏名・入院日等の基本的な情報を表示している。
佐野記念病院では入口ドア横に担当看護師を表示しているため、ピクトパネルへの表示は行っていない。

ピクトパネルの仕様

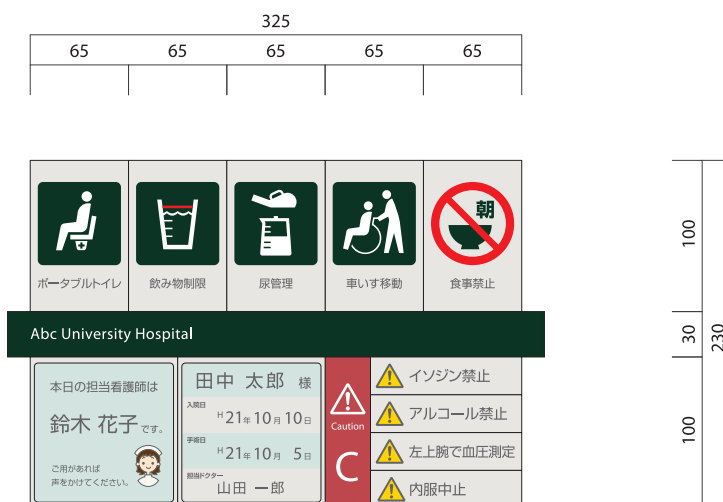
- [A]～[C] : マグネットシートにインクジェット出力シート貼(マグネット脱着式)
- [D] : マグネットシートに表示は市販のシールプリント対応とし病院にて変更対応が可能としている。
- ベース部 : ベースはマグネット対応のスチール複合板にインクジェット出力シート貼
ドットパターンを入れることで、オリジナル性をだしたデザインとしている。
タイトル部下部のスペースは、患者さんが自由に使えるマグネットラインとなっている。
- タイトル部 : アクリル(ガイドレール)

事例 3 基本デザイン例



- ・ピクトグラムは基本の5枚対応とする。
- ・担当看護師表示スペース大きく設けることでより明確に認識することができる。
- ・担当看護師表示・患者表示はマグネットシートに市販のシールプリント対応とし、各施設で変更対応が可能な仕様とする。

事例 4 2段タイプデザイン例



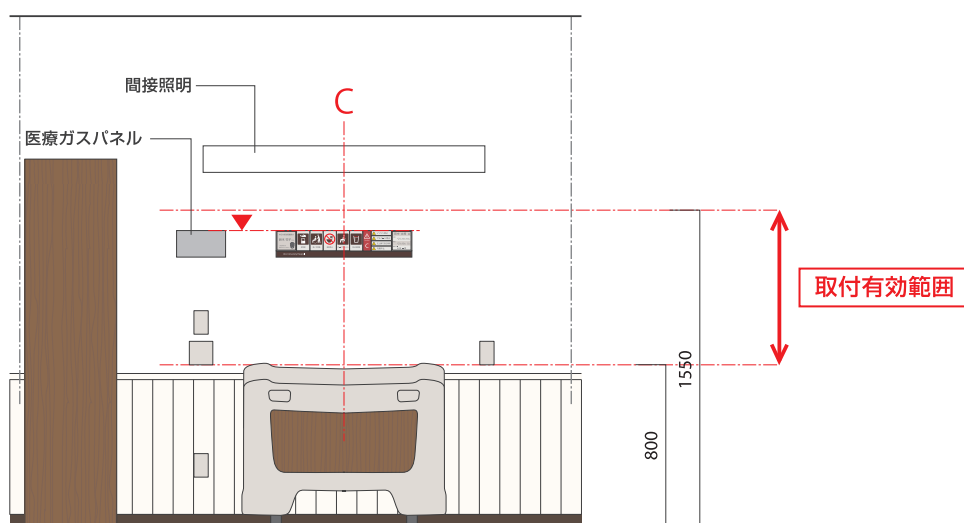
- ・ピクトグラムは基本の5枚対応とする。
- ・上部にピクトグラム、下部に情報・注意表示を設けた2段タイプとすることで、様々な設置環境に対応することができる。

4

ピクトパネルの設置位置の考え方

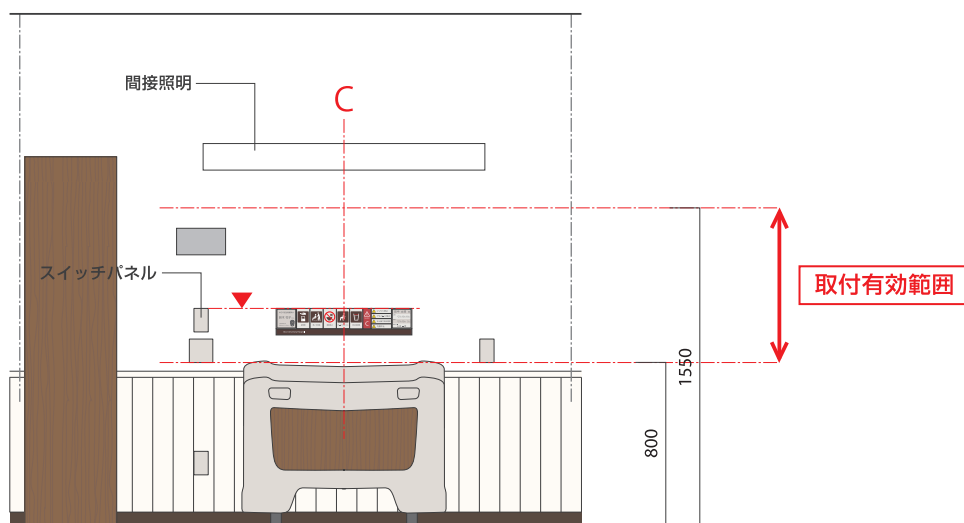
療養環境としての全体のバランス、調和を保ちながら、ベッドの頭側の壁に設置することを基本とし、人の目線から外れない見やすい場所に設置してください。

参考 1 医療ユニットパネルがない場合の上端設置イメージ



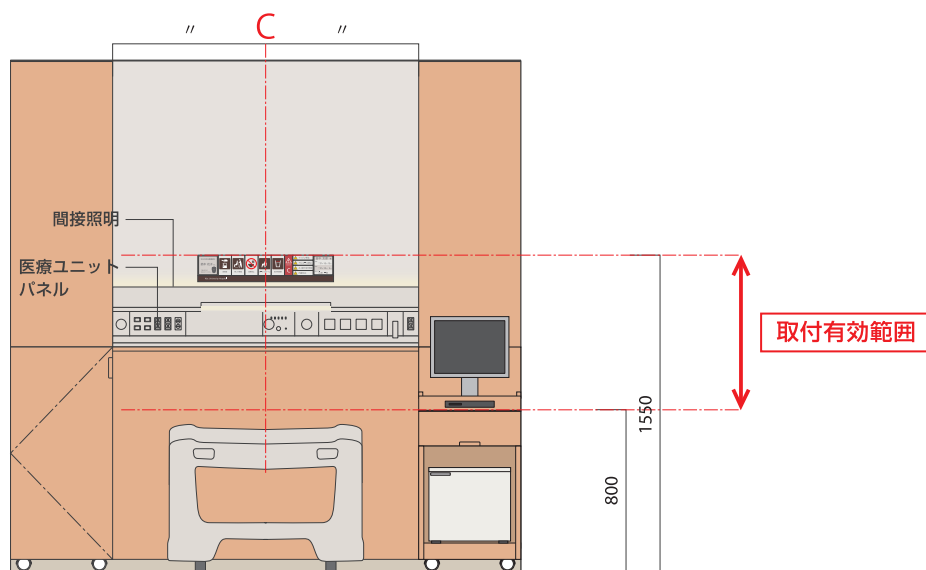
- ・横位置 間接照明とセンター合わせ
- ・取付高 医療ガスパネルと上端合わせ

医療ユニットパネルがない場合の下端設置イメージ



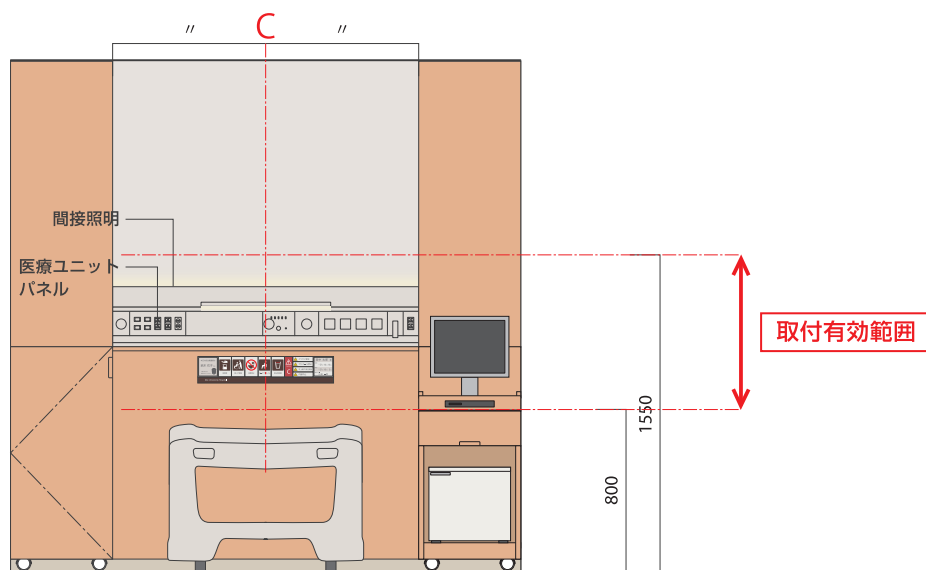
- ・横位置 間接照明とセンター合わせ
- ・取付高 スイッチパネルと上端合わせ

参考 2 医療ユニットパネルがある場合の上端設置イメージ



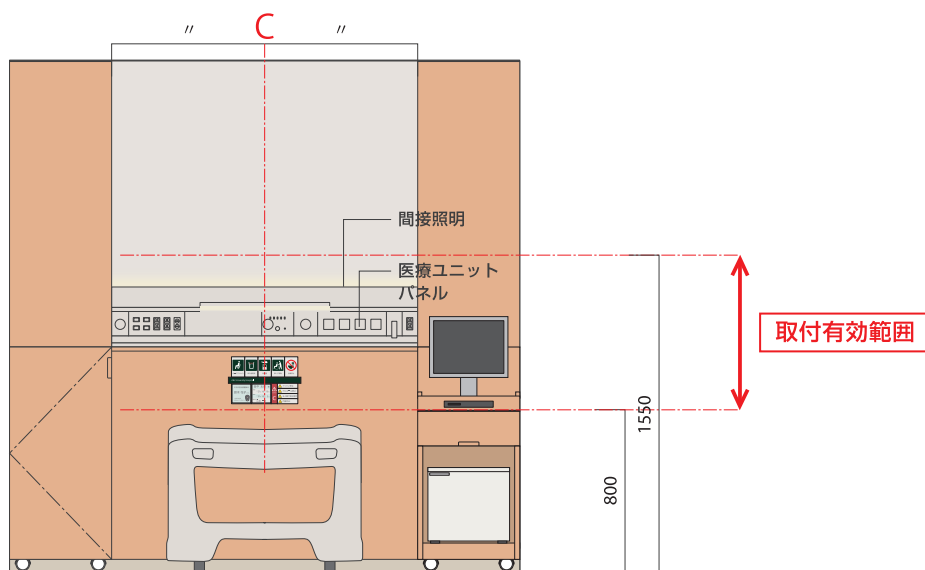
- ・横位置 壁面センター
- ・取付高 間接照明上部壁面

医療ユニットパネルがある場合の下端設置イメージ



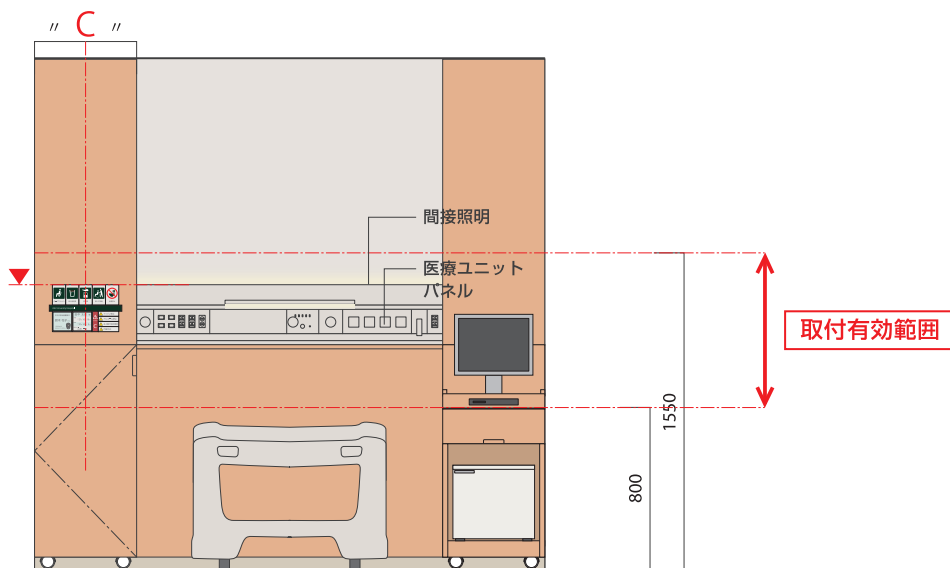
- ・横位置 壁面センター
- ・取付高 医療ユニットパネル下部の腰壁部分

参考 3 2段タイプデザインのセンター設置イメージ



- ・横位置 壁面センター
- ・取付高 医療ユニットパネル下部の腰壁部分

2段タイプデザインのサイド設置イメージ



- ・横位置 収納ロッカーとセンター合わせ
- ・取付高 収納ロッカー上部, 医療ユニットパネルと上端合わせ

5

医療看護支援ピクトグラム一覧

- 目的** 療養生活支援を円滑にするコミュニケーションツール
- ・そのベッドに横たわる患者さんが
 - ・治療しながら
 - ・できるだけいつもと同じ生活を送ることができるために
 - ・そこに集まる人たち（病院全職員、患者・家族、面会者）が
 - ・何らかの支援（声をかける、人を呼ぶ、介助する）を
 - ・しやすくする（情報共有）、したくなる（ピクトグラム）ツール

対象となる情報

日常生活に関する情報を基本とします。そのピクトグラムが表示されることで、たまたま通りかかった人でもその方への配慮ができ、それが安全・安心につながるものとなりました。

移動 Ambulation



歩行



杖



歩行器



車いす移動



ベッド移動

姿勢 Posture



ヘッドアップ制限
30度



ヘッドアップ制限
45度



ヘッドアップ制限
60度

排泄 Toilet activities



ベッド上排泄



ポータブルトイレ

食事 Diet



飲食禁止



飲食禁止



食事禁止（朝）



食事禁止（昼）



食事禁止（夜）

飲み物 Fluids



飲み物制限



服薬時水分可



飲み物計量中



飲み物可

職員共有 Staff sharing



右上肢処置禁止



左上肢処置禁止



定時採血



尿管管理



リハビリ中

本誌に掲載されている絵文字（ピクトグラム）は、
医療施設での使用を前提に考案された「医療看護支援ピクトグラム」です。
これは社団法人日本サインデザイン協会（SDA）の推奨を得ています。
ピクトグラムの使用等に関するお問い合わせは下記までお願いします。

医療看護支援ピクトグラムの考え方・導入に関するご相談

ベッドまわりのサインづくり研究会

Address. 〒143-0015 東京都大田区大森西 4-16-20

Tel. 03-3762-9881（東邦大学 看護学部 横井）

E-mail. care_pict@med.toho-u.ac.jp

URL. http://www.lab.toho-u.ac.jp/project/kango/healthcare_pict/

ピクトパネルのデザイン・導入施工に関するご相談

社団法人日本サインデザイン協会（SDA）

Address. 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 池田ビル 2F

Tel. 03-3818-8537

E-mail. sda@sign.or.jp

URL. <http://www.sign.or.jp>